

平成29年（2017）1月 入域観光客数概況

1月の観光客数は、65万3,000人
対前年（H28）同月比 +7万1,400人、+12.3%
～1月の過去最高を更新、国内客は1月初の50万人超～

入域状況

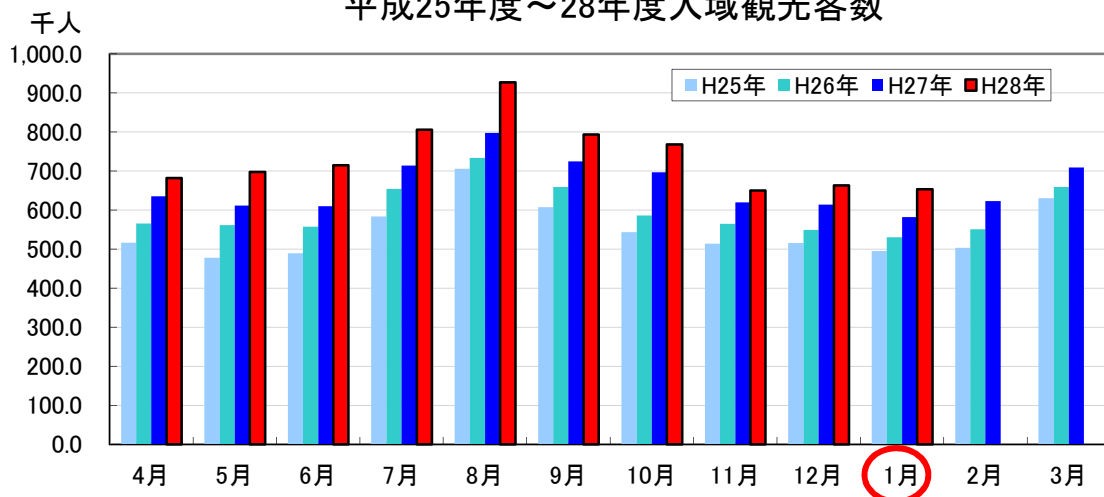
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	505,800 人	466,700 人	+ 39,100人	+ 8.4%	77.5%
外国客	147,200 人	114,900 人	+ 32,300人	+ 28.1%	22.5%
合計	653,000 人	581,600 人	+ 71,400人	+ 12.3%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	505,800 人	466,700 人	+ 39,100人	+ 8.4%	78.5%
外国客	138,900 人	110,600 人	+ 28,300人	+ 25.6%	21.5%
合計	644,700 人	577,300 人	+ 67,400人	+ 11.7%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

1月は、個人旅行を中心に各種商品の販売状況が好調だったことや、引き続き、各航空会社による航空路線の拡充が夏季から継続していること等から、前年を上回った。

2月は、祝日が土曜日となり連休がなかったものの、スポーツキャンプ見学や桜祭り等各種イベントが多く、各航空会社における予約状況が良好なことや、引き続き、航空路線の拡充が継続すること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

1月は、春節（旧正月）時期の旅行需要に伴う各主要国・地域から各航空会社によるチャーター便や前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと、定期クルーズ船の寄港があった台湾を中心に海路客が増加したこと等により、空路・海路客ともに前年を上回った。

2月は、個人旅行を中心とした旅行商品の予約状況が良好なことや、下旬からは新規路線となるタイ・バンコクー那覇間の新規就航を含む航空路線の拡充が予定されていること等により、空路客を中心に好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	250,500 人	228,700 人	+ 21,800人	+ 9.5%	49.5%
関西方面	100,300 人	93,600 人	+ 6,700人	+ 7.2%	19.8%
福岡方面	66,100 人	62,100 人	+ 4,000人	+ 6.4%	13.1%
名古屋	41,600 人	37,300 人	+ 4,300人	+ 11.5%	8.2%
その他	47,300 人	45,000 人	+ 2,300人	+ 5.1%	9.4%
合計	505,800 人	466,700 人	+ 39,100人	+ 8.4%	100.0%

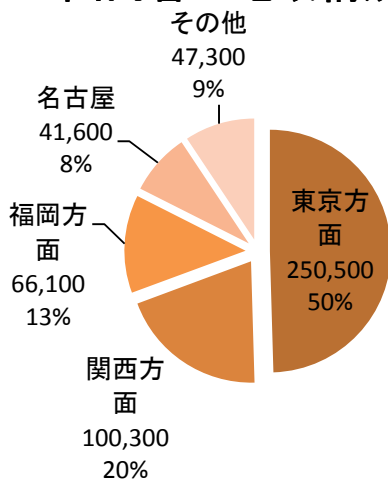
※国内海路客2,800人を含む(鹿児島2,800人)

外国客 国籍別入域状況

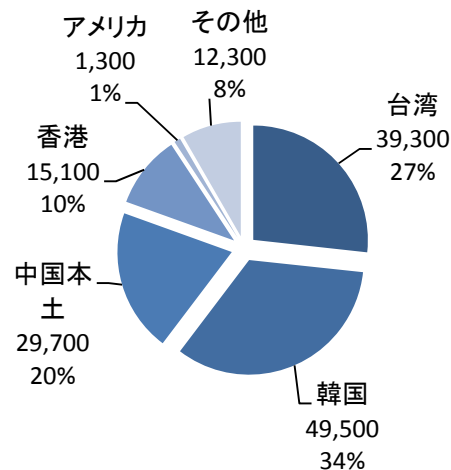
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	39,300 人	39,300 人	22,600 人	+ 16,700人	+73.9%	26.7%
韓国	49,500 人	49,500 人	43,200 人	+ 6,300人	+14.6%	33.6%
中国本土	29,700 人	29,700 人	28,800 人	+ 900人	+3.1%	20.2%
香港	15,100 人	15,100 人	11,600 人	+ 3,500人	+30.2%	10.3%
アメリカ	1,300 人	1,300 人	1,000 人	+ 300人	+30.0%	0.9%
その他	12,300 人	4,000 人	7,700 人	+ 4,600人	+59.7%	8.4%
合計	147,200 人	138,900 人	114,900 人	+ 32,300人	+28.1%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	32,000 人	32,000 人	+53.1%	25.5%	7,300 人	7,300 人	+329.4%	34.0%
韓国	49,500 人	49,500 人	+14.8%	39.4%	0 人	0 人	皆減	0.0%
中国本土	24,200 人	24,200 人	+18.6%	19.3%	5,500 人	5,500 人	△34.5%	25.6%
香港	14,800 人	14,800 人	+27.6%	11.8%	300 人	300 人	皆増	1.4%
アメリカ	1,300 人	1,300 人	+30.0%	1.0%	0 人	0 人	—	0.0%
その他	3,900 人	3,900 人	+18.2%	3.1%	8,400 人	100 人	+90.9%	39.1%
合計	125,700 人	125,700 人	+25.3%	100.0%	21,500 人	13,200 人	+47.3%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

1月は、個人旅行を中心に旅行商品の販売状況が良好だったことや、各航空会社による羽田及び成田路線の提供座席数が増加したこと等から、前年を上回った。
2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭り等各種イベントが多く、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

大阪

1月は、各航空会社において個人旅行を中心に販売状況が良好だったことや、伊丹－那覇及び関西－離島路線を中心に入込が増加したこと等から、前年を上回った。
2月は、祝日が土曜日となり連休がなかったものの、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

1月は、各航空会社において個人旅行を中心に販売状況が好調だったことや、LCCが好調に推移したこと、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。
2月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

1月は、各航空会社と旅行会社が連携した各種旅行商品等の販売状況が好調だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。
2月は、スポーツキャンプ見学や学生旅行等の需要の高まりに加えて、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、名古屋－宮古間の直行チャーター便が予定されていること、引き続き、航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

1月は、春節時期の旅行需要に加えて、団体旅行の販売状況が好調だったことや、定期クルーズ船の寄港があったこと、前年同月に比べて台北－那覇路線の航空路線の拡充があったこと等から、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。
2月は、タイガーエア台湾の台北－那覇路線の増便による航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

韓国

1月は、冬場暖かい沖縄でサイクリングイベントが人気だったことに加えて、旧正月時期の旅行需要に伴い個人旅行を中心に販売状況が好調だったことや、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。
2月は、韓国プロ野球キャンプ見学や個人向け旅行商品の予約状況が良好なこと、引き続き、航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

1月は、春節時期の旅行需要に伴い個人旅行を中心に販売状況が好調だったことや、中国国際航空の天津－那覇路線が運航再開したこと等から、前年を上回った。
2月は、各航空会社の予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取組の強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

1月は、前年に比べて上海発クルーズ船の寄港回数が減ったことから、海路客で減少したものの、家族旅行を中心に販売状況が好調だったことや、中国東方航空の杭州－那覇路線が運航再開したこと等から、空路客は増加、全体としては前年を上回った。
2月は、各航空会社の予約状況が良好なことや、上海及び広州発クルーズ船の寄港が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

香港

1月は、春節時期の旅行需要に伴う香港－那覇間のチャーター便や、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、空路客を中心に増加、前年を上回った。
2月は、冬場のホエールウォッチングや桜祭り等の人気の高まりに加えて、オプション付き旅行商品の予約状況が良好なこと等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。